建設・造園業／女性社員

株式会社しばなか

業態の変化に女性のチカラで対応 柔軟な社内制度づくり

造園、エクステリアの設計施工を専門とする同社。建設に関わる業界の中では女性の割合が高く、社員25人中７人が女性です。内５人がガーデンプランナーとして幅広い業務をこなし、営業の第一線で活躍。同社の、女性が働きやすい環境づくりへの取組みは、県の「ふくい女性活躍支援企業」や「子育てモデル企業」の認定を受けるなど、高く評価されています。代表の中村潤一氏にお話を伺いました。



代表取締役 中村 潤一 氏(右)
ガーデンプランナー 松原 真紀子 氏(左)

公共工事から個人向けに転換 女性が活躍する現場

以前は公共事業をメインに仕事を請け負っていた同社。近年、公共事業が減少する中で徐々に一般住宅向けの外構工事に軸足を移してきました。それまでの公共工事とは違い、各顧客それぞれの要望に対してわかりやすい提案が必要となる中で、10年前から専用の３ＤＣＡＤでエントランスや庭の施工イメージを作成するようになりました。ＣＡＤのオペレーターやガーデンプランナーとして女性が増員されたのもその頃です。

同社では、来店された顧客に対し、ヒアリングからデザイン・設計、現場管理まで一貫してひとりのスタッフが担当します。女性社員の強みを中村氏はこう語ります。

「女性ならではの、きめ細やかでやわらかい接客がお客様に喜ばれています。特に、新築外構をおしゃれにしたいと考える若いご夫婦などの場合、女性スタッフのセンスも活かされ、多くの成約につながっています」。今では、女性社員が社内での営業成績トップといいます。

ほとんどの女性社員が入社してからＣＡＤの使い方を学ぶという同社。「思うように使えるようになるまで３～４年ほどかかります。時間をかけて人材を育てるため、出産や育児を理由に仕事を辞められてしまうことが、会社にとって一番の痛手になります」と中村氏。では、女性社員が長く勤めるために、どのような社内制度を整えているのでしょうか。

社員各々の現状に沿った 柔軟な制度づくり

同社では、子育て中の女性従業員の希望に応じて、フレックス時間制度、自由選択休日制度、自宅持ち帰り残業を認めています。また比較的遠方から通勤している女性社員に対して30分勤務時間を遅らせるなど、それぞれの家庭の事情に可能な限り対応しているといいます。「出産や子育て事情で、優秀な人材に辞められてしまうより、たとえ短時間でも仕事をしてもらった方がよほど有難い」と中村氏。

「持ち帰り残業などは完全に社員の申告制ですから、当然リスクもあります。ただ、家庭の事情で時間内に仕事を終わらせないといけない中で、手間をかけて良い仕事をしたいという彼女らのもどかしさを日頃から感じていましたので、信頼の上で取組んでいます」

信頼の構築のために同社では、社長自ら社員全員との個人面談を年に４回も行っています。一度に数日かかるものの、社員の現状や悩みをしっかり把握することが業務をうまく回すことにつながるといいます。

「現在、主力の女性が２人産休中です。この間の運営は決して楽ではありませんが、復帰後にはこれまでに身につけた技術を、是非また当社で活かしてほしい。それまでは安心して子育てに専念してもらいたいです」

今の段階で女性の管理職はいないものの、将来的に現場を引っ張っていってくれるポストに就いてほしいと中村氏は考えています。



株式会社しばなか
http://www.ryokkatei.jp/
所 在 地：福井市高柳3丁目4707
電話番号：0120－128－372
代 表 者：中村 潤一 氏
資 本 金：2,500万円
従業員数：25名
事業内容：造園、ガーデンエクステリア、土木